

SEIKO

ハイブリッド 電波クロック

取扱説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、お
願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

AZS-017W

目次

安全上のご注意	4
必ずお読みになってからご使用ください	6
使用上のご注意	6
使用場所について	6
ご使用前に	7
ハイブリッド電波クロックについて	7
付属品	7
各部の名称	8
正面	8
裏面	9
電池について	10
ご使用方法	11
各モードについて	11
時刻を自動で合わせる	12
JJY モード（標準電波を使用する）	12
APP モード（スマートフォンのアプリを使用する）	14
子機モード（設定済みの親機または他の子機から時刻を受信する）	18
時刻を手動で合わせる	21
手動で時刻を合わせる（JJY モード／APP モードのみ）	21
便利な機能	22
分調整機能（1 分単位で時間差を設定する）	22
受信レベルの表示について	23
光センサーによる自動秒針停止機能について	23
電池切れ予告機能について	23
コントラスト調整について	23
故障かな？と思ったときは	24

付録	26
製品仕様	26
電波クロックについて	27
電波時計／電波修正機能とは	27
標準電波（JJY）とは	27
電波受信について	27
Bluetooth® 機器について	28
機器認定について	28
周波数について	28
ペアリングについて	28
Bluetooth® 無線技術について	29
Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル	29
通信有効範囲	29
他機器からの影響	29
他機器への影響	30
ご注意	30
お手入れについて	30
保証・アフターサービス	31
商標について	31

安全上のご注意

必ずお守りください

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容

<アルカリ電池について>

- (1) 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<付属部品(木ねじ、掛け具)について>

木ねじや掛け具などは、幼児の手が届かないところへ置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがありますので、十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

<無線通信について>

- ・ペースメーカーをご使用の方は胸部に本製品を近づけないでください。
- ・病院や航空機内及びガソリンスタンド等では本製品を使用しないでください。



注意

けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

<掛け方について>

本製品は確実に掛けてください。本製品の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。



※ 掛け具に本製品を掛けた際、本製品を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき	付属の掛け具（掛金具、釘）をご使用ください。 付属の木ねじは使用しないでください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	付属の木ねじ、掛け具は使用しないでください。 市販の掛け具をご使用ください。 ※ 市販の掛け具によっては、正しい掛け方ができない場合があります。P.4の＜掛け方について＞をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

＜製品の設置場所について＞

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

＜電池について＞

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- (1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。
また、本製品を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず $\ominus$ 側から入れてください。また、 $\oplus \ominus$ を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

＜分解や改造をしない＞

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

＜製品と電池の廃棄について＞

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品は、国内専用です。
海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

<液晶パネルについて>

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。
- 木枠の製品の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。JJY モードでご使用になる場合は、できるだけ標準電波を受けやすい窓際などに設置してください。

なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品や OA 機器の近く
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- スチール机など、金属製の家具の上や近く
- その他、電波ノイズを発生させるものの近く

※ 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

ご使用前に

ハイブリッド電波クロックについて

標準電波受信による時刻修正機能に Bluetooth® 通信による時刻データ受信機能を加えた時計です。

標準電波を受信しにくい場所に設置する場合は、以下の2つの方法があります。

- ・あらかじめスマートフォンにインストールした専用アプリを使うことで正確な時刻を表示する
- ・他のハイブリッド電波クロックから時刻データを受信し、時刻を同期させる

ご
使
用
前
に

付属品

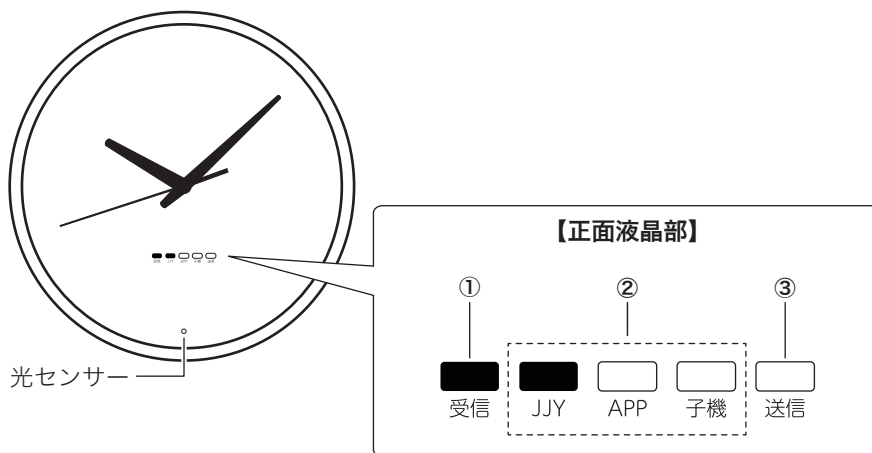
- 取扱説明書（本書）1冊
 - 木ねじ 1本（厚い木の壁・木の柱専用）
 - 石膏ボード用掛け具（掛金具 1個、釘 5本（うち 1本は予備））
 - マクセルアルカリ乾電池「ボルテージ」単 3形 6個
 - 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚
 - 保証書 1枚
 - クイックスタートガイド 1枚
- ※ 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

ご使用前に(つづき)

各部の名称

正面

ご使用前に



① 受信表示

時刻を受信したときに液晶が点灯します。

- ・ JJY モードで 24 時間以内に標準電波を受信したとき
 - ・ APP モードで 24 時間以内にスマートフォンのアプリから時刻データを受信したとき
 - ・ 子機モードで 24 時間以内に親機または他の子機から時刻データを受信したとき
- 受信中は液晶が点滅します。

② 受信モード表示

裏面の切替スイッチで設定した受信モードの液晶が点灯します。

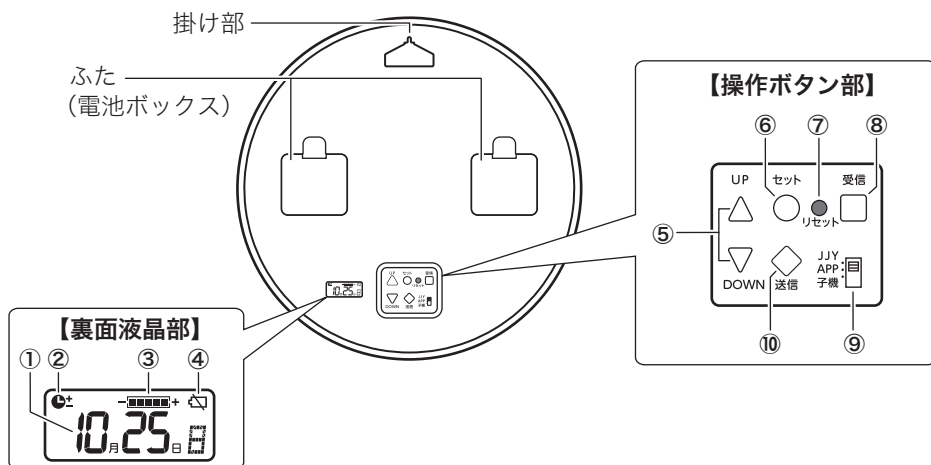
- ・ JJY モード表示 : JJY モードの場合に液晶が点灯します。
- ・ APP モード表示 : APP モードの場合に液晶が点灯します。
- ・ 子機モード表示 : 子機モードの場合に液晶が点灯します。

③ 送信表示

Bluetooth 通信によって時刻データを送信しているときに表示されます。

送信中は液晶が点滅します。

裏面



ご使用前に

【裏面液晶部】

- ① 日時
現在の日付が表示されます。
設定時は時刻が表示されます。
- ② 分調整マーク
分調整機能を使用中に表示されます。
- ③ コントラストマーク
コントラストの調整中に表示されます。
- ④ 電池交換マーク
電池交換が必要なときに表示されます。

【操作ボタン部】

- ⑤ UP / DOWN ボタン
分調整、コントラスト調整、手動で時刻を合わせるときに使用します。
- ⑥ セットボタン
分調整または手動で時刻を合わせるときに使用します。
- ⑦ リセットボタン
初期化するときに使用します。
(電池交換後は、先端の細いもので必ず押してください)
- ⑧ 受信ボタン
受信の停止／再開または受信レベルを表示するときに使用します。
- ⑨ 切替スイッチ
 - ・ JJY : JJY モードとして標準電波を受信するときに合わせます。
 - ・ APP : APP モードとしてスマートフォンのアプリから時刻データを受信するときに合わせます。
 - ・ 子機 : 子機モードとして親機または他の子機から時刻データを受信するときに合わせます。
- ⑩ 送信ボタン
送信の停止／再開するときに使用します。

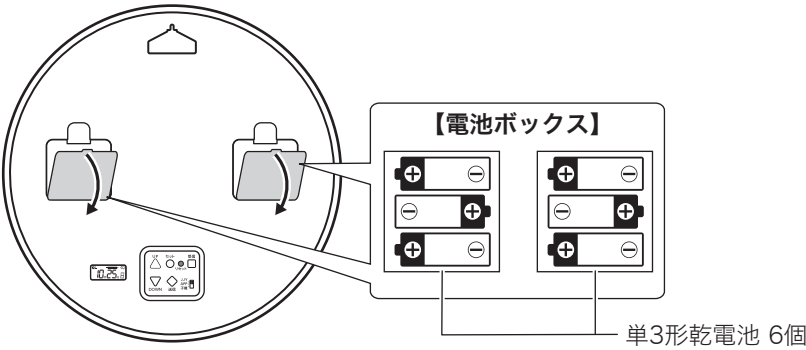
ご使用前に(つづき)

電池について

本製品では単3形アルカリ電池を6個使用します。

※ JJY
APP: (切替スイッチ) をご使用になりたいモードに合わせてから電池を入れてください。
子機

ご
使
用
前
に



注意	- 電池の⊕ ⊖ の向きを間違えないように注意してください。 - 種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 - 使用推奨期限が5年以上先のマクセルアルカリ乾電池「ボルテージ」または同等品を使用してください。
重要	電池の交換後は、必ず ● (リセットボタン) を押してください。

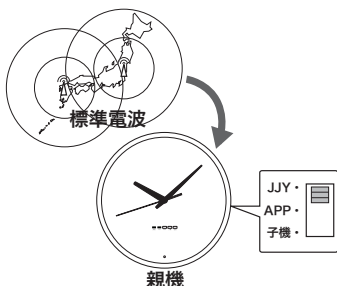
ご使用方法

各モードについて

ご使用の環境に合わせて、3種類の受信モードから選択します。

①標準電波受信 (JJY モード)

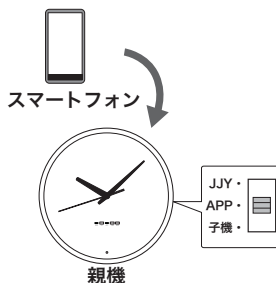
標準電波 (JJY) を受信し、電波時計として自動で時刻を合わせます。



参照 『JJY モード (標準電波を使用する)』 (P.12) をご覧ください。

②アプリで時刻同期 (APP モード)

スマートフォンアプリから時刻データを受信し、自動で時刻を合わせます。



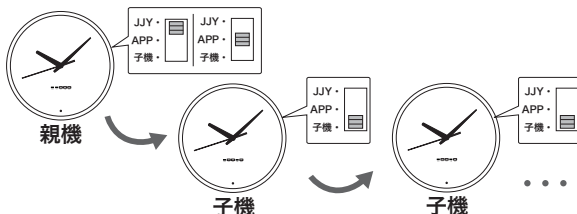
参照 『APP モード (スマートフォンのアプリを使用する)』 (P.14) をご覧ください。
ご使用いただけるスマートフォンについてはホームページアドレス <https://www.seiko-stc.co.jp> にてご確認ください。

③他のハイブリッド電波クロックからの時刻同期 (子機モード)

ハイブリッド電波クロックを2台以上でご使用になる場合は、『①標準電波受信』または『②アプリで時刻同期』を設定した他のハイブリッド電波クロック (親機) から時刻データを受信することが可能です。また、子機から別の子機に時刻データを送ることもできます。

子機モードでは、1台単独でのご使用はできません。

※複数台設置する場合は、弊社ウェブサイト <https://www.seiko-clock.co.jp/support/manual/> に掲載の取扱説明書末尾の「設置マニュアル」をご参照ください。



※ 設定済みの親機または子機から、同時に複数の子機に時刻データを送信することもできます (設置環境によって受信側の子機の数異なります)。

参照 『子機モード (設定済みの親機または他の子機から時刻を受信する)』 (P.18) をご覧ください。

時刻を自動で合わせる

JJY モード (標準電波を使用する)

1 JJY APP 子機 (切替スイッチ) を「JJY」に合わせる

2 電池を入れる (単 3 形アルカリ乾電池 6 個)

本体裏面のふたを開けて、 $\oplus$ $\ominus$ の向きに注意して電池を入れてください。

3 設置場所で ● (リセットボタン) を押す

※ ● (リセットボタン) は先の細いもので押してください。

標準電波の受信を開始し、現在の時刻に調整します。設置場所で ● (リセットボタン) を押してください。

・ 針が下記の時刻のいずれかで一時停止します。

(1 時 50 分、3 時 10 分、5 時 50 分、6 時 10 分、8 時 30 分、9 時 10 分、11 時 10 分、12 時 10 分の各 00 秒)

・ 受信中は受信表示が点滅します。

・ 受信に要する時間は最長約 20 分です。

※ 夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できることがあります。

 詳しくは、『電波クロックについて』(P.27) をご覧ください。

受信に成功した場合

受信レベルが 5 段階で裏面液晶部に 5 秒間表示されます。

受信レベル

1 2 3 4 5

(受信状態が悪い) ← → (受信状態が良い)

裏面液晶部に現在時刻が表示された後、自動的に針が動き出します。裏面液晶部に表示された時刻に針の位置が合うと、現在の日付を表示します。

※ 受信表示は、受信中に点滅し、24 時間以内に受信が成功していると点灯します。24 時間を超えて標準電波を受信できない場合は点灯しません。

受信表示点灯



受信レベル表示



時刻表示



日付表示

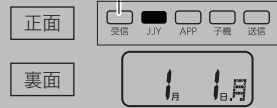


受信できなかった場合

針の一時停止が解除され、秒針が動き出します。
受信表示は点灯せず、日付は修正されません。

参照 対処方法については、『電波を受信できなかった場合』（下記）をご覧ください。

受信表示点灯なし



4 本製品を設置する

本製品を使用したい場所に設置してください。

※ 窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所に設置してください。

参照 付属の『製品のお取り扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく設置してください。

子機へのデータ送信について

受信に成功した後、送信表示が点滅し、子機に向けて時刻データを自動で送信します。

※ 送信は 1 時間後に停止します。

※ 送信を手動で停止するには、◇（送信ボタン）を押します。

送信表示点滅



自動受信について

毎日、午前 2 時に自動で標準電波を受信します。以後約 3 時間ごとに標準電波の受信を繰り返します。(1 日 8 回)

この場合、秒針は「12 時の位置」で停止し、分針は約 30 秒ごとに動作することがあります。(故障ではありません)

電波を受信できなかった場合

受信できなかった場合、次のことをお試しください。

設置場所を変えて、□（受信ボタン）を受信表示が点滅するまで（約 3 秒）押して、再度受信をしてください。そのまま一晩様子を見てください。夜間は昼間よりも受信状態が良くなりますので翌日までに受信に成功する場合があります。

参照 『JJY モード（標準電波を使用する）』（P.12）もご覧ください。



電波を受信できない

スマートフォンのアプリで時刻を合わせてください。

参照 『APP モード（スマートフォンのアプリを使用する）』（P.14）をご覧ください。

手動で時刻を合わせてください。

参照 『手動で時刻を合わせる（JJY モード／APP モードのみ）』（P.21）をご覧ください。

ご使用方法(つづき)

APP モード (スマートフォンのアプリを使用する)

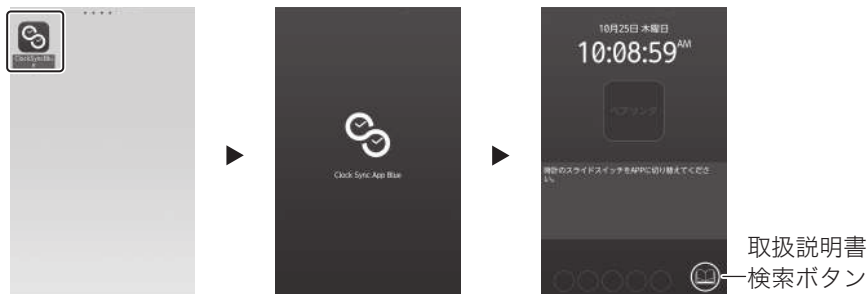
「ClockSyncAppBlue」は、本製品の時刻をスマートフォンの時刻と同期させるアプリです。あらかじめ、ご使用になりたいスマートフォンにインストールします。

ご使用いただけるスマートフォンについてはホームページアドレス <https://www.seiko-stc.co.jp> にてご確認ください。

お知らせ

- ・ APP モードは、アプリが起動しているときのみ時刻を同期します。
- ・ APP モードは、スマートフォンの Bluetooth 機能がオフになっていたり、通信が制限されていたりするときは時刻を同期しません。

- 1 スマートフォンで Google Play ストアまたは App Store にアクセスする
- 2 「ClockSyncAppBlue」をキーワード検索して、スマートフォンにインストールする
※「ClockSyncAppBlue」以外のアプリでは時刻を同期しません。
- 3 スマートフォンの Bluetooth® 機能をオンにする
- 4 スマートフォンで「ClockSyncAppBlue」を起動し、ホーム画面を開く



※ アプリの仕様および画面のデザインは予告なく変更になる場合があります。

お知らせ

🔍 (取扱説明書検索ボタン) をタップすると、取扱説明書の検索ページにジャンプします。

- 5 JJY APP 子機 (切替スイッチ) を「APP」に合わせる

- 6 電池を入れる (単 3 形アルカリ乾電池 6 個)

本体裏面のふたを開けて、⊕ ⊖ の向きに注意して電池を入れてください。

- 7 設置場所で ● (リセットボタン) を押す

※ ● (リセットボタン) は先の細いもので押してください。設置場所で ● (リセットボタン) を押してください。受信表示が点滅します。

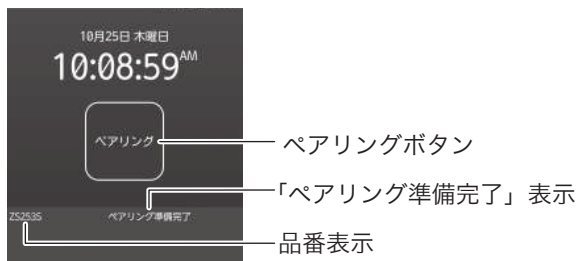
- ・ 針が下記の時刻のいずれかで一時停止することがあります。
(1 時 50 分、3 時 10 分、5 時 50 分、6 時 10 分、8 時 30 分、9 時 10 分、11 時 10 分、12 時 10 分の各 00 秒)
- ・ リセット後、本製品が同期動作をする時間は最長約 30 分です。

8 ペ어링ボタンをタップして時刻を同期する

スマートフォンと時刻の同期を開始します。

・ 本製品から近い位置でスマートフォンを操作してください。

※ 本製品の品番と「ペアリング準備完了」が表示されていることを確認してください。



※ 一度ペアリングしたことのある時計と再度ペアリングしようとする、ペアリングボタンが表示されずに自動的に時刻同期が完了する場合があります。

同期に成功した場合

受信レベルが5段階で裏面液晶部に5秒間表示されます。

受信レベル

1 2 3 4 5

(受信状態が悪い) ← → (受信状態が良い)

裏面液晶部に現在時刻が表示された後、自動的に針が動き出します。裏面液晶部に表示された時刻に針の位置が合うと、現在の日付を表示します。

※ 受信表示は、同期動作中に点滅し、24時間以内に同期が成功していると点灯します。24時間を超えてスマートフォンと同期ができない場合は点灯しません。

また、アプリ画面では「時刻同期成功」が約10秒点灯し、ペアリングマークが表示され、本製品とスマートフォンのペアリングが完了します。本製品とスマートフォンにペアリングの情報が登録されるため、以降は自動で認識されるようになります。

受信表示点灯



受信レベル表示



時刻表示



日付表示



ペアリング
マーク

「時刻同期成功」表示

ご使用方法(つづき)

同期できなかった場合

アプリ画面では、「時刻同期失敗」と表示されます。親機が受信を継続している場合、しばらくするとアプリ画面では、「ペアリング準備完了」と表示されます。再度ペアリングボタンをタップしてください。
また同期開始から30分後、針の一時停止が解除され、秒針が動き出します。受信表示は点灯せず、日付は修正されません。



対処方法については、『スマートフォンと初期同期できなかった場合』(P.17)をご覧ください。



「時刻同期失敗」表示
受信表示点灯なし



9 本製品を設置する

本製品を使用したい場所に設置してください。

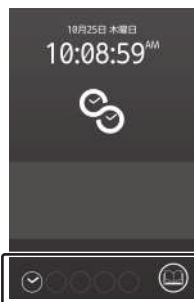
※ できるだけスマートフォンと同期させやすい場所に設置してください。



付属の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく設置してください。

お知らせ

APPモードの親機は最大5台まで接続できます。また24時間以内に接続した親機の台数を☑マークで表示します。



24時間以内に接続した親機の台数表示
(1台設定されている状態)

子機へのデータ送信について

スマートフォンとの同期に成功した後、送信表示が点滅し、子機に向けて時刻データを自動で送信します。

※ 送信は 1 時間後に停止します。

※ 送信を手動で停止するには、◇（送信ボタン）を押します。



自動同期について

スマートフォンの Bluetooth 機能がオンで、且つアプリ（ClockSyncAppBlue）が起動している状態のときは、毎日午前 2 時 55 分から約 3 時間ごと（8 回 / 日）にスマートフォンと Bluetooth 通信による時刻同期を行います。

同期に成功している場合は受信表示が点灯しています。

受信表示が消えている場合は、バックグラウンドでのアプリの動作が停止している可能性がありますので下記の対応をお願いいたします。

<対処方法>

1. スマートフォンの Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。
2. アプリ（ClockSyncAppBlue）を再起動させてください。
3. 同期が成功し受信表示が点灯したことを確認してください。（時刻同期には 10 分程度かかることがあります。）

※ スマートフォンの機種によってはアプリをバックグラウンドで動作させていても自動同期できないことがあります。

※ スマートフォンを省電力モードや機内モードに設定していたり、バッテリーの残量が少なくなっていると自動同期ができなくなることがあります。

※ ペアリングしていないスマートフォンと時刻同期はしません。

スマートフォンと初期同期できなかった場合

同期できなかった場合、次のことをお試しください。

アプリを再起動させ、□（受信ボタン）を受信表示が点滅するまで（約 3 秒）押して、再度アプリのペアリングボタンをタップしてください。

 『APP モード（スマートフォンのアプリを使用する）』（P.14）もご覧ください。



同期できない

設置場所を変えて、標準電波で時刻を合わせてください。



『JJY モード（標準電波を使用する）』（P.12）をご覧ください。

手動で時刻を合わせてください。



『手動で時刻を合わせる（JJY モード / APP モードのみ）』（P.21）をご覧ください。

ご使用方法(つづき)

子機モード(設定済みの親機または他の子機から時刻を受信する)

- 1 時刻を設定した親機または他の子機の送信表示が点滅していることを確認する



※画面は親機をJJYモードで設定した場合の例です。

お知らせ

- ・ 送信表示は1時間点滅し、時刻データを送信します。
- ・ 送信表示が表示されていないときは、◇(送信ボタン)を押してください。

- 2 受信させたい子機のJJY APP:子機1 (切替スイッチ)を「子機」に合わせる

- 3 電池を入れる(単3形アルカリ乾電池6個)

本体裏面のふたを開けて、⊕ ⊖ の向きに注意して電池を入れてください。

- 4 設置場所で●(リセットボタン)を押す

※●(リセットボタン)は先の細いもので押してください。

受信を開始し、現在の時刻に調整します。設置場所で●(リセットボタン)を押してください。

- ・ 針が下記の時刻のいずれかで一時停止することがあります。
(1時50分、3時10分、5時50分、6時10分、8時30分、9時10分、11時10分、12時10分の各00秒)
- ・ 受信中は受信表示が点滅します。
- ・ リセット後、本製品が受信に要する時間は最長約30分です。

受信に成功した場合

受信レベルが5段階で裏面液晶部に5秒間表示されます。

受信レベル

1 2 3 4 5

(受信状態が悪い) ← → (受信状態が良い)

裏面液晶部に現在時刻が表示された後、自動的に針が動き出します。裏面液晶部に表示された時刻に針の位置が合うと、現在の日付を表示します。

※ 受信表示は、24時間以内に受信が成功すると点灯します。24時間を超えて設定済みの親機または他の子機から時刻データを受信できない場合は点灯しません。



受信できなかった場合

針の一時停止が解除され、秒針が動き出します。受信表示は点灯せず、日付は修正されません。



対処方法については、『送信元の親機または子機から受信できなかった場合』（P.20）をご覧ください。

受信表示点灯なし



5 本製品を設置する

本製品を使用したい場所に設置してください。

※ 送信元の親機または子機からの時刻データを受信しやすい場所に設置してください。



付属の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく設置してください。

他の子機へのデータ送信について

受信に成功した後、送信表示が点滅し、他の子機に向けて時刻データを自動で送信します。

※ 送信は 1 時間後に停止します。

※ 送信を手動で停止するには、◇（送信ボタン）を押します。

送信表示点滅



自動受信について

毎日、自動で時刻データを受信します。以後約 3 時間ごとに設定済みの親機または子機と Bluetooth 通信による受信を繰り返します。受信時刻については設置環境により異なります。また子機モードのとき、スマートフォンアプリからの自動受信はしません。

ご使用方法（子機モード）

メモ

JJY モード表示または APP モード表示が点滅しているときは、送信元の親機または送信元の子機が 72 時間以上時刻データを受信できていない状態です。そのため、表示されている時刻が正確ではない可能性があります。受信表示が点灯していない時計を受信させてください。

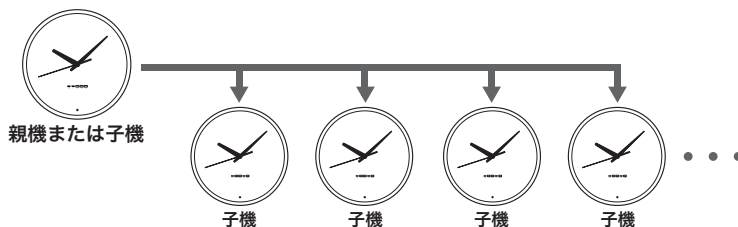
JJYモード表示点滅



お知らせ

1 台の親機または子機から、複数の子機に時刻データを自動送信させることができます（設置環境によって、送信できる台数が異なります）。

※複数台設置する場合は、弊社ウェブサイト <https://www.seiko-clock.co.jp/support/manual/> に掲載の取扱説明書末尾の「設置マニュアル」をご参照ください。



送信元の親機または子機から受信できなかった場合

受信できなかった場合、次のことをお試しください。

送信元の親機または子機の送信表示が点滅していることを確認して、送信元の親機または子機の近くに設置場所を変えてから、□（受信ボタン）を受信表示が点滅するまで（約3秒）押して、再度受信してください。

参照 『子機モード（設定済みの親機または他の子機から時刻を受信する）』（P.18）をご覧ください。



受信できない

設置場所を変えて、標準電波で時刻を合わせてください。



『JJY モード（標準電波を使用する）』（P.12）をご覧ください。

スマートフォンのアプリで時刻を合わせてください。



『APP モード（スマートフォンのアプリを使用する）』（P.14）をご覧ください。

時刻を手動で合わせる

手動で時刻を合わせる（JJY モード／ APP モードのみ）

JJY モードまたは APP モードで時刻データを受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

1 秒針が停止するまで ○（セットボタン）を長く押す（約 7 秒以上）

途中で （分調整マーク）が表示されますが、そのまま秒針が停止するまで ○（セットボタン）を押し続けてください。

2 △（UP ボタン）／▽（DOWN ボタン）を押して年を合わせ、○（セットボタン）を押す

2000 年～ 2099 年まで合わせることができます。



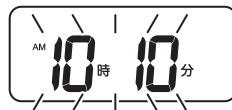
3 △（UP ボタン）／▽（DOWN ボタン）を押して日付を合わせ、○（セットボタン）を押す

日付を合わせると、曜日は自動的に合います。



4 △（UP ボタン）／▽（DOWN ボタン）を押して時刻を合わせ、○（セットボタン）を押す

○（セットボタン）を押すと同時に 0 秒にリセットされ、秒針が動き出します。



※ 5 分以上ボタンを操作しない場合は、自動的に秒針が動き出した後、「12 時の位置」で停止し、時分針が設定時刻になった後に秒針が動き出します。

便利な機能

分調整機能（1 分単位で時間差を設定する）

表示している現在時刻から± 24 時間まで 1 分単位で時間差を設定できます。必ず時刻を合わせてから分調整をしてください。

1 ○（セットボタン）を長く押す（約 3 秒以上）

●±（分調整マーク）が表示されます。

2 △（UP ボタン）／▽（DOWN ボタン）を押して、表示したい時間差を設定する

± 24 時間の範囲で、表示している現在時刻から 1 分単位で時間差を設定できます。

3 ○（セットボタン）を押す

○（セットボタン）を押すと同時に針が動き出します。

※ 5 分以上ボタンを操作しない場合は、分調整モードを終了し、元の設定時刻に戻ります。

お知らせ

分調整機能は、●（リセットボタン）を押しても解除されません。また分調整機能で設定した情報は子機に送信されません。

分調整マーク



現在時刻から針を
10分進めるとき



現在時刻から針を
20分遅らせるとき



分調整機能を解除する

1 ○（セットボタン）を長く押す（約 3 秒以上）

●±（分調整マーク）が表示されます。

2 △（UP ボタン）／▽（DOWN ボタン）を押して、「0:00」に設定する

3 ○（セットボタン）を押す

○（セットボタン）を押すと同時に●±（分調整マーク）が消え、針が動き出します。

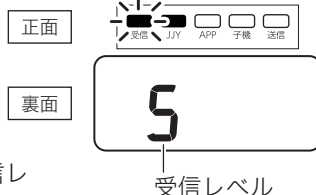
※ 5 分以上ボタンを操作しない場合は、分調整モードを終了し、元の設定時刻に戻ります。

分調整マーク



受信レベルの表示について

通常動作中に□（受信ボタン）を押すと、24 時間以内に受信（同期）に成功したときの受信レベルをカレンダー部に 5 秒間表示します。



- ・各モードで手動受信（同期）に成功したときは、受信レベルが5秒間表示されます。
- ・24時間以上、受信に成功しておらず受信表示が消えているときは受信レベルを表示しません。

光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーによって本製品の周囲の明るさを検出し、暗くなると秒針が「12 時の位置」で停止します。明るくなると、「00 秒」に合わせて秒針が動き出します。

※ 秒針が停止している間も、時針と分針は正しい時刻を表示します。

電池切れ予告機能について

本製品には電池切れ予告機能が付いています。

電池の容量が少なくなると、（電池交換マーク）が点滅し、明るい場所でも秒針が「12 時の位置」で停止して、電池の交換時期であることをお知らせします。

※ 速やかにすべての電池を新しいものに交換してください。



コントラスト調整について

本製品には正面および裏面の液晶のコントラスト（濃さ）を5段階で調整する機能が付いています。

通常動作中に△（UP ボタン）／▽（DOWN ボタン）を押して、**—+**（コントラストマーク）が表示されている間に調整してください。



故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
針が動かない	・ 電池が入っていない ・ 電池が正しい向きに入っていない	・ 指定の新しい電池を、向きを確かめながら入れてください (P.10)。
	・ 電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている	・ 電池の端子や電池ボックスの接片の表面をふいてください。また、電池を入れた後、電池を2～3回転させてください。
	・ 電波の受信中、または時刻の修正中である	・ 受信終了後、通常の動作に戻ります。
	・ 静電気などにより、マイコンが誤作動している	・ ●（リセットボタン）を押してください。
針が不規則に動く	・ 電波の受信中、または時刻の修正中である	・ 受信終了後、通常の動作に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	・ 自動秒針停止機能が作動している	・ 室内が明るくなると秒針が動き始めます。
	・ 電波の受信中である	・ 受信が終了すると秒針が動き始めます。
	・ 電池の容量が少なくなっている（電池交換マークが点滅している）	・ 指定の新しい電池を、向きを確かめながら入れてください (P.10)。
ボタンの操作が効かない	・ 電波の受信に成功し、時刻の修正中である ・ リセットした後、電波の受信中である	・ 時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを操作してください。
時刻が合っていない	・ 受信（同期）が成功していない	・ 設定したモードに合わせて、再度受信（同期）してください（JJYモード：P.12、APPモード：P.14、子機モード：P.18）。
	・ 電池の容量が少なくなっている（電池交換マークが点滅している）	・ 指定の新しい電池を、向きを確かめながら入れてください (P.10)。
	・ 正しくリセットされていない	・ ●（リセットボタン）を確実に押してください。
	・ 分調整機能を設定している ・  （分調整マーク）が表示されている	・ 必要に応じて、分調整機能を解除してください (P.22)。

症状	考えられる原因	処置方法
アプリが動かない	・ スマートフォンがアプリに対応していない	・ 対応しているスマートフォンをご使用ください。ご使用いただけるスマートフォンについてはホームページアドレス https://www.seiko-stc.co.jp にてご確認ください。
アプリのペアリングボタンをタップしても時刻を同期しない	・ スマートフォンの Bluetooth 設定がオフになっている	・ スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにしてください。
	・ APP モード表示が点灯していない	・ 切替スイッチを「APP」に合わせてください。
	・ 時計が同期できる状態になっていない	・ 受信表示が点滅していることを確認してください。
	・ 時計とスマートフォンとの距離が離れている	・ スマートフォンを時計に近づけて、再度試してください。
	・ スマートフォンが Bluetooth Ver. 4.0 以上に対応していない	・ 左記の規格に対応しているスマートフォンをご使用いただくか、JJY モードに切り換えて電波時計としてお使いください。
ペアリング済みの時計がスマートフォンの時刻を同期しない	・ アプリが起動していない	・ アプリを再起動してください。（＜対処方法＞：P.17）。
	・ アプリがバックグラウンドで起動しているが動作していない	
	・ ペアリングが切れている	・ アプリを起動し、再度ペアリングしてください（P.14）。
	・ スマートフォンの Bluetooth 設定がオフになっている	・ スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにしてください。
親機と子機、または子機同士が時刻を同期しない	・ 親機と子機、または子機同士の距離が受信可能な範囲を超えている	・ 送信元の親機または子機に近い位置に設置してください。
	・ 強い電磁波を発生する機器が近くにある	・ 機器から離れた位置に時計を設置してください。 ・ 強い電磁波を発生する機器の電源を切ってください。
	・ 子機が受信に成功していない	・ 送信元の親機または子機の送信表示が点滅していることを確認して、●（リセットボタン）を確実に押してください。

付録 (改良のため予告なく変更する場合があります)

製品仕様

- 時間精度：** 平均月差± 20 秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合・気温 5℃～ 35℃で使用した場合)
- 使用温度範囲：** - 10℃～ 50℃
(液晶表示部 判読可能温度範囲：0℃～ 40℃)
- カレンダー：** 2000 年 1 月 1 日～ 2099 年 12 月 31 日のフルオートカレンダー
(月末、うるう年とも修正不要)
- 表示内容：** カレンダー (月／日、曜日)
- 使用電池：** マクセルアルカリ乾電池「ボルテージ」単 3 形 6 個
- 電池寿命：** 約 5 年
(マクセルアルカリ乾電池「ボルテージ」単 3 形を 6 個使用した場合・1 日に
つき自動秒針停止機能を 8 時間使用した場合)

電波受信機能 (JJY モード)：

- ・自動受信… 毎日午前 2 時、以後約 3 時間ごとに受信
(受信から次の受信まではクオーツの精度で動作)
- ・手動受信… ボタン操作による
2 つの電波 (40kHz / 60kHz) のうち最適な方を選択し、受信します。

Bluetooth 受信機能 (APP モード／子機モード)：

- ・自動受信… APP モードは毎日午前 2 時 55 分、以後約 3 時間ごと、または 10 分ごとに受信
子機モードは約 3 時間ごとに受信、受信時刻については設置環境により異なります。
- ・手動受信… ボタン操作による

Bluetooth 送信機能：

- ・自動送信… 初期受信後 1 時間送信
JJY・APP モードは毎日午前 0 時、以後約 3 時間ごとに送信
子機モードは約 3 時間ごとに送信、送信時刻については設置環境により異なります。
- ・手動送信… ボタン操作による

使用周波数帯域： 2.4GHz 帯 (2.4000GHz ～ 2.4835GHz)

通信方式： Bluetooth Ver. 4.0 (Time Profile)

受信結果確認機能： 受信表示が点灯

受信レベル表示： 初期と手動の受信成功時、および自動受信における受信レベルを 5 段階表示

時刻合わせ機能： 電波受信による自動セット、または手動セット

分調整機能： ± 24 時間まで (設定単位：1 分)

光センサーによる自動秒針停止機能：

暗くなると秒針が「12 時の位置」で停止

電池切れ予告機能： 電池の交換時期になると、電池交換マークを表示し、秒針が「12 時の位置」で停止

※指針 (針の表示) 誤差について：構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

※使用電池および電池寿命に記載されている会社名および商品名は、マクセル株式会社の商標です。

電波クロックについて

電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

標準電波（JJY）とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内 2 カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

※ JJY は無線局の識別信号（コールサイン）です。

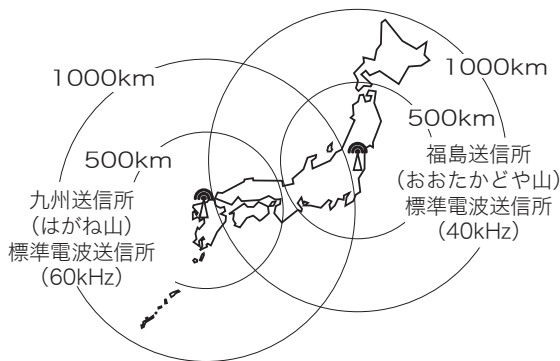
詳しくは右記ホームページをご覧ください。（ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp/>）

※「JJY」は情報通信研究機構の登録商標です。

電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西 2 カ所）からおおむね 1000km ～ 1200km です。

この製品は、40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。



■ ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時 15 分と 45 分から各 1 分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準時グループのホームページをご覧ください。（ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp/>）

Bluetooth® 機器について

機器認定について

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの設備として認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律によって罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解／改造すること
- ・ 本製品に貼り付けられている証明ラベルをはがすこと



周波数について

本製品は 2.4GHz 帯の 2.4000GHz から 2.4835GHz までを使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意事項

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点やその他お困りのことがありましたら、お客様相談室までお問い合わせください。お客様相談室については、本書裏表紙をご覧ください。

2.4FH1 この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

ペアリングについて

Bluetooth 機器では接続する機器同士をあらかじめ登録しておく必要があります。この登録を「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングすると、本製品とスマートフォンにペアリング情報が登録され、以後自動で認識されます。

以下の場合には、再ペアリングが必要になります。

- ・ スマートフォンに別の時計を登録するとき
- ・ スマートフォンの機種変更をしたとき
- ・ 本製品の修理などでペアリングの情報が削除されたとき
- ・ アプリのアップデートや再インストールでペアリングが解除されてしまったとき

※ 1 台のスマートフォンに対して、親機として本製品を 5 台まで接続できます。

6 台以上接続した場合、最後に受信してから最も時間が経過している時計からペアリングが解除されます。誤ってペアリングを解除してしまった場合は、再度ペアリングしてください。

Bluetooth® 無線技術について

Bluetooth 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。必要に応じて 2 つの機器をつなげて使うことが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。無線技術によって、USB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また赤外線技術のように機器同士を向かい合わせにする必要もありません。例えば、片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。Bluetooth 規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中の様々なメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本製品は以下の Bluetooth バージョンとプロファイルに対応しています。

対応 Bluetooth バージョン：

- ・ Bluetooth 標準規格 Ver. 4.0

対応 Bluetooth プロファイル：

- ・ TIP (Time Profile)
時刻の修正

通信有効範囲

ハイブリッド電波クロック同士の通信有効範囲は、障害物がない場所で約 30m です。以下の状況においては、通信有効距離が短くなることがあります。

- ・ Bluetooth 接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・ 無線 LAN が構築されている場所
- ・ 電子レンジを使用している周辺
- ・ その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN 機能を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・ 本製品と Bluetooth 機器を接続するときは、無線 LAN 機器から 10m 以上離れた所で行う。
- ・ 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN 機器の電源を切る。

付録(つづき)

他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える恐れがあります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本製品および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- ・ 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・ 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- ・ Bluetooth 機能を使うには、相手側の Bluetooth 機器が本製品と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様によって機能が異なる場合があります。
- ・ 本製品は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが十分ではない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- ・ Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生した場合でも、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本製品と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

お手入れについて

プラスチック枠の時計の場合

- 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※ お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

保証・アフターサービス

- ・本製品はメーカー保証です。
保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- ・保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- ・保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ・本製品の修理用部品は、製造終了後 7 年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- ・修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- ・有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- ・保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。
- ・お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ・ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。

商標について

- ・ Bluetooth[®] ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、セイコータイムクリエーション株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- ・ Google Play は、Google LLC の商標です。
- ・ Apple は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- ・ マクセルアルカリ乾電池「ボルテージ」はマクセル株式会社の商標です。
- ・ 「JJY」は情報通信研究機構の登録商標です。
- ・ その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では[®]、TM マークは明記していない場合があります。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、製品の裏面
または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、下記クロックお客様相
談室にお問い合わせください。

（例：ZS ○○○、ZA ○○○、SQ ○○○）

クロックお客様相談室 0120-315-474

<https://www.seikowatches.com/jp-ja/>

発売元

セイコーウォッチ株式会社